

■平成 24 年度 第 1 回長浜城歴史博物館協議会 会議録■

日時：平成 24 年 10 月 5 日（金）13：30～

会場：長浜城歴史博物館 地階研修室

【出席者】

委員：東、衣斐、大橋、小和田、木村、草野、嶋田、西川（五十音順・敬称略）

長浜城：片山館長、太田、森岡、北村、南部、西原、富岡、福井

（司会）

それでは定刻になりましたので、ただいまから平成 24 年度長浜城歴史博物館協議会を開会します。

皆様方にはご多用のところをご参集賜り、厚くお礼申し上げます。

長浜城歴史博物館 館長の片山から挨拶申し上げます。

【館長挨拶】

（片山館長）

今春から就任しました片山です。今年度第 1 回目の博物館協議会を開催しましたところ、ご多用の中ご参集いただき、有り難うございます。現在、長浜城では期間限定でライトアップを再開しましたが、今後も効果的に実施していきたい。

長浜会場と高月会場で開催中の特別展「湖北の観音」は、9 月 27 日に入館者数が 1 万人を突破しました。多くの皆さんからご好評をいただいておりますが、地域の大切な観音様をお預かりしているという思いが強い。

浅井歴史民俗資料館では、15 年ぶりに七りん館ヨシ屋根の修復工事を実施しており、今後は文化財としての活用を図りたい。合併 3 年目を迎え、長浜城は市内歴史文化施設 10 館の管理原課として、日々精を出している。到らぬ点もあるとは思いますが、委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りたい。

【議長選出】

（司会）

博物館協議会委員については、平成 24 年 6 月 30 日に任期満了となったが、全ての委員の皆さんに継続のご了承をいただいた。なお、市内小・中学校の代表として委員であった片山が、当館館長に就任致しましたので、長浜西中学校の北川清治校長に後任をお願いした。本日、北川委員は欠席されているが、皆さん、よろしくお願いします。

さて、委員の改選にともない、長浜城歴史博物館条例第 10 条の規定に基づき、会長と副会長の選出をお願いしたい。任期は 2 年となっている。

（委員）

事務局に一任します。

(司会)

事務局一任というお声をいただき、事務局案として会長に大橋委員、副会長に東委員を推薦したく、皆さんにお諮り願いたい。

(委員)

異議なし(全員一致)

(司会)

それでは、大橋委員に会長を、東委員に副会長をお願いします。

【議案審議】

(司会)

ただいまから議案審議に移ります。

議長の選出は、博物館条例第10条の2に基づき、大橋会長をお願いします。

(大橋委員)

このたび会長という重責を仰せつかりましたが、よろしくをお願いします。博物館職員の皆さんには、大変なご苦勞をいただき、立派に博物館運営をされている。微力ではあるが、少しでも力になればと考えている。

平成24年度事業について、展示関係の説明をお願いしたい。

1) 特別展の展示見学・説明について

森岡：特別展「湖北の観音 ～信仰文化の底流をさぐる～」について、展示説明を行った。

【委員講評】

(木村委員)

大変素晴らしい展示会である。湖北に住む人々の信仰心の篤さを改めて実感できた。

また、特徴的な馬頭観音が一度に三体見られることも素晴らしい。立体的な資料を展示される中で、非常に苦勞された跡がしのばれる。

3階展示室では己高山の追体験ができ、湖北に根付く長浜城ならではの展覧会であると感じた。

平日であるにもかかわらず、多くの方が来館され、その熱気に驚いた。啓発活動の賜物であろう。

(小和田委員)

私は、大学院生の頃から湖北の寺院を数多く巡ってきたが、ここまで一堂に会した仏像を見せていただくのは、初めての経験である。また、展示図録は、各仏像の姿を正面だけでなく、側面、背面の写真に掲載しているので、非常に有り難い。

本当に素晴らしい展覧会だが、来館者の中には、秀吉や石田三成関連の資料展示を期待している方も多いだろう。常設展示と特別展とのバランスは、今後の課題として考えていかなければならない。

(東委員)

これだけ多くの仏像が出品されているというのは、長浜城歴史博物館が地域の皆さんから信頼されているということである。

(草野委員)

地域と結びつく長浜城歴史博物館ならではの展覧会であると感じた。
また、湖北の歴史・文化を知る上でも、貴重な展覧会である。

(大橋委員)

改めて湖北の歴史・文化の深さを実感することができた。湖北の仏像が一同に並び、会場全体に温かい慈悲の世界を感じることができた。湖北の観音は、県外の人々にも関心を持たれているが、そういった意味でも的を射た展覧会である。

(嶋田委員)

湖北の貴重な仏像が数多く展示されているが、出品交渉の際にはさぞかし苦労されたことだと思う。
伊香郡だけでなく浅井郡や坂田郡にも素晴らしい仏像はたくさん居られると思うので、今後に期待したい。

2) 平成24年度事業について実績および計画（博物館事業・友の会事業）

(大橋委員)

続いて平成24年度博物館事業と友の会事業について、実績と計画の説明をお願いします。

(事務局)

南部、福井が資料に基づき説明した。

(大橋委員)

博物館事業ならびに友の会事業への意見・提言をお願いします。

(小和田委員)

収蔵資料がかなり増加しているが、その保管場所は確保できているのか。

(太田)

現在、民俗系資料は、旧高月小学校に保管している。美術工芸品については、館内の収蔵庫に保管しているが、スペースに限りがあるため、今後の対策が必要である。

(小和田委員)

収蔵施設の新設を考える必要があるのではないか。

(大橋委員)

昨年の協議会でも提案があったが、収蔵庫新設については、強く要望していく必要がある。

(木村委員)

収蔵庫は博物館の要であり、命とも言えるものであるから、市当局にも関心を高めていただきたい。

民具類は旧高月小学校に保管しているということだが、きちんと保管しないと、ホコリが溜まりやすくなるので、注意が必要である。

(太田)

支所の空きスペースを有効活用することも一つの方法である。その他、収蔵庫については、当方で原案を作成しているところである。

(木村委員)

資料保存は、カタチとして目に見えにくいものである。根気よく要望を続け、時間は掛かっても、皆さんの共通理解を得ることが重要である。

(嶋田委員)

文化財所有者から要望してもらうのも、一つの方法ではないか。

(片山館長)

収蔵庫の不足は、全国的な課題となっている。

県の博物館協議会を通して、国へ提言を行う動きもある。

(大橋委員)

博物館実習やインターンシップを受け入れておられるが、学生たちの様子はどうか。

(西原)

大変熱心に取り組んでおられる。

(大橋委員)

昨年も問いかけをしたが、少ない職員数で、これほど多くの事業をこなしていくのは、大変なご苦労であると思われる。学芸員として、「研究」する時間を持つことは重要で、その成果を市民の皆さんに「還元」していくことも、本来の業務の一つではないか。

職員数を増やすのは難しいことかもしれないが、どこかで無理が生じてくるので、対策を講じる必要がある。

(太田)

長浜市全体として、歴史・文化への期待が非常に大きいと感じている。

我々は、その期待に応えていかなければならない。

これは、非常に有り難いことであり、他の地域と比べても、その期待度が大きい。

(大橋会長)

これもちまして、平成24年度第1回博物館協議会の全ての議事を終了いたします。

慎重にご審議いただき、提案事項いずれも議案どおり決議いただきました。

議事進行については、皆様のご協力により無事、職責を果たすことができました。

誠に有り難うございました。

(司会)

大橋会長、有り難うございました。委員の皆さん、長時間のご審議ありがとうございました。

◆新規購入資料、寄託・寄贈資料の内覧

○浅井長政書状 阿閉甲斐守宛 1幅

○長浜町売券

○引き札 (寄贈資料)